東市来町養母の田の神

【所　在　地】日置市東市来町養母元養母
【種　　別】県指定有形民俗文化財
【指定年月日】昭和 43 年３月 29 日

四角な二段の台座の上にあり，像の高さ 92cm，灰白質の凝灰岩で割れ易く台座の霜ぐえがひどい。像の顔の部分は風化してややつぶれているが，眉のつりあがった厳しい表情であごひげも見られる。長いエイを垂れた 冠 をかぶり，袖が地につくほどの長衣をつけた衣冠束帯姿の立像である。

両手で胸の前に笏を立てて持つ，袴の背部と左の外側に文字が刻んであり，庚申講の人たちによって庚申供養のためにつくられたことを物語る。このような直立神像型の田の神は日置郡を中心に 14 体ほどあるが，その代表的なものである。明和６（1769）年造立。